

臨床研究「脊柱靱帯骨化症治療後残存症状に関する研究」について

筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

脊柱靱帯骨化症は厚生労働省がさだめる難病に指定されている疾患の一つであり、脊柱のほぼ全長を縦走する靱帯が骨化することにより脊椎管狭窄をきたし、脊髄または神経根の圧迫障害を来す疾患です。保存的治療で効果が得られない場合や、脊髄症状が明らかな症例には手術療法が行われ、様々な研究が進んでおります。しかし、手術や保存的治療によっても残存する症状に関しては未だ解明されていないことも多く、一定期間治療を行なっても残存する症状を把握することが非常に重要であると考えられ、本研究では治療によって残存する症状を把握し、残存した症状の治療方法の有効性、安全性を評価することが目的です。

② 研究対象者

承認日から2024年12月31日までの期間内に筑波大学附属病院に脊柱靱帯骨化症で受診され、保存的治療または手術治療を受けられて1年以上経過された患者さまです。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日まで

④ 研究の方法

承認日から2025年12月31日までの電子カルテ内の診療記録、画像検査、症状、使用している薬剤、症状に関する質問票にご回答頂いたデータを利用して脊柱靱帯骨化症治療後の残存症状について解析します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

電子カルテ内の診療記録、画像検査、症状、使用している薬剤、症状に関する質問票

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

多施設共同研究であり、下記の他の研究機関・研究責任者へ郵送もしくは電子的配信にて提供します。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

北里大学医学部整形外科学 講師 宮城正行

⑧ 研究機関名および研究責任者名

大川 淳 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科整形外科 教授

岩崎 幹季 大阪労災病院整形外科 部長

中嶋 秀明 福井大学医学部器官制御医学講座整形外科 講師

山崎 正志 筑波大学医療系学部整形外科 教授

竹下 克志 自治医科大学医学部整形外科 教授

今釜 史郎 名古屋大学大学院医学系研究科整形外科 教授

松山 幸弘 浜松医科大学整形外科 教授

森 幹士	滋賀医科大学整形外科 准教授
山田 宏	和歌山県立医科大学整形外科 教授
遠藤 直人	新潟大学教育研究院医歯学系整形外科 教授
高畑 雅彦	北海道大学病院整形外科 准教授
菅野 晴夫	東北大学整形外科 講師
種市 洋	獨協医科大学整形外科 教授
山本 謙吾	東京医科大学整形外科 教授
渡辺 雅彦	東海大学医学部外科学系整形外科 教授
今城 靖明	山口大学大学院医学系研究科整形外科 准教授
波呂 浩孝	山梨大学院医学工学総合研究科整形外科 教授
古矢 文雄	千葉大学大学院医学研究院 整形外科 講師
和田 簡一郎	弘前大学大学院医学研究科整形外科 講師
大島 寧	東京大学医学部整形外科 准教授
海渡 貴司	大阪大学大学院器官制御外科学整形外科 講師
松本 守雄	慶應義塾大学医学部整形外科 教授
藤林 俊介	京都大学整形外科 特定教授
新井 嘉容	済生会川口総合病院 整形外科 主任部長
進藤 重雄	九段坂病院 整形外科 診療部長
佐藤 公昭	久留米大学医学部整形外科 教授
出村 諭	金沢大学整形外科 准教授
川口 善治	富山大学大学院医学薬学研究部整形外科 教授
石井 賢	国際医療福祉大学三田病院整形外科、国際医療福祉大学成田病院整形外科 教授
筑田 博隆	群馬大学整形外科 教授
三澤 治夫	岡山大学医歯薬学総合研究科整形外科 助教
谷口 昇	鹿児島大学大学院整形外科 教授
小澤 浩司	東北医科薬科大学整形外科 教授

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：整形外科 担当 高橋 宏

電話 029-853-3304 FAX 029-853-3304（平日9～17時）